

ふくしま県人会だより

第34号
平成28年12月
福島県人会
北海道連合会

連合会の活動

第44回福島県人会北海道連合会

総会が開催されました

第44回福島県人会北海道連合会総会が、5月28日(土)に網走市の「ホテル網走湖荘」で開催されました。

来賓に鈴木正晃福島県副知事、杉山純一福島県議会議長御夫妻、清水敬二北海道才ホーツク総合振興局副局長、高橋文明北海道議会議員御夫妻、平井雄二美幌町副町長、大原昇美幌町議会議長をお迎えし、道内県人会から会員の皆さま等、合計107名が出席しました。

総会では、事業計画、予算が承認され、次回の総会開催を札幌福島県人会が担当することが決定されました。

式典では、長年県人会の発展に寄

与された皆さまに、福島県知事、福島県人会北海道連合会長からの感謝状が贈られました。

懇親交流会では、福島県産日本酒等を飲みながら、母県の思い出話に花を咲かせるとともに、副知事をはじめとした来賓の方々や、会員同士の交流を深めました。また、カラオケ大会が催され、会員の皆さまが、自慢ののどを披露され、最後には、参加者全員で「ふるさと」を合唱して会場は大いに盛り上がりました。

【感謝状受賞者】

福島県知事

金子 民男 様 (旭川)

福島県人会北海道連合会長

松浦 セツ子 様 (札幌)

高木 厚子 様 (旭川)

渡邊 武治 様 (旭川)

谷川 祐喜子 様 (別海町)

花久 正友 様 (美幌町)

打地 良子 様 (美幌町)

松井 忠義 様 (浜中町)
金田 章 様 (紋別地区)
高橋 武 様 (千歳)
菅野 信子 様 (苦小牧)
塚見 信子 様 (苦小牧)
松尾 真理子 様 (苦小牧)



【知事感謝状を受賞される金子様】

第4回全国うつくしま県人会

交流会が開催されました

全国各地の福島県人会が一堂に会する、第4回全国うつくしま県人会交流会が、10月27日(木)に千歳市の「丸駒温泉旅館」で開催されました。

来賓に鈴木正晃福島県副知事、満山喜一福島県議会議長をお迎えし、道外より、東京福島県人会、東海福島県人会、関西福島県人会、ふ

くやま福島県人会、福岡福島県人会が出席され、福島県人会北海道連合会の会員等を含め、合計50名が出席しました。

意見交換会では、各県人会の活動状況が報告されました。次に「復興の加速化と風評払拭について」をテーマに、意見交換が行われ、各県人会からは、イベントでの情報発信や県産品の販売等を通じた福島県のPR・風評払拭の取組、福島復興の復興を応援していきたいなど、活発な意見が交わられました。最後に次回開催は、福島県大阪事務所管内の県人会が担当することが決定しました。

懇親交流会では、福島県産日本酒やカラオケ等で、来賓や、道外県人会の皆さまとの交流を深め、最後は全員で「ふるさと」を合唱し、盛況のうちに幕を閉じました。



【意見交換会の様子】

会員通信

仏縁に導かれた利尻島での供養

札幌福島県人会

会長 田中 四郎

福島県の会津地方は、日本の五大
仏教都市の一つです。五大仏教都市
とは、京都、奈良、鎌倉、平泉、会
津の都市を云います。

ちなみに、私の故郷会津山都町の
実家の菩提寺は、今から780年前
の鎌倉時代に建立された曹洞宗の
寺で、如意山宝昌寺という名前の寺
です。

私事で申し訳ありませんが、昭和
38年に転勤で札幌に来てから、そ
のまま札幌の住民となってしまっ
ました。昭和45年に西区の西野に
住宅を建てて現在に至っていると
ころでございます。

札幌では、会津の実家と同じ宗派
である曹洞宗の寺で、正信山養福寺
という寺が自宅の近くにありまし
たので、菩提寺として檀家になり、
以来おつきあいをして参りました。
創業の先代住職と現住職の二代に

渡り、寺の責任役員及び総代として
護持に当たっております。

時折の住職との会話の中で、北海
道内の数カ所に私の出身地である
会津藩から藩士達が北方の警備の
目的で北海道に渡り、病気になっ
てしまい会津に戻れず、死去した藩士
の墓があるという話をして居りま
した。

お寺の住職は、色々な役職を兼ね
て活躍している人が多いのです。菩
提寺の住職である河村康秀師も、曹
洞宗北海道管区教化センター主管
の任にあつて、道内のあちこちの寺
に向いては、布教や説法に務めて
います。又、札幌大学では仏教の講
義を持つて学生に教えております。

宗派の平成28年度の行事予定の
中で今回、10月1日から4日迄、
利尻島内にある4ヶ所のお寺、広鏡
寺様、鷲泊の大法寺様、杢形の大泉
寺様、そして鬼脇の大決寺様の4ヶ
寺を、布教と説法の為に訪問されま
した。

幸い島では、比較的長時間もとれ
て博物館の見学も出来たそうです。
さらに、なんとなく散策した所は、
ペシ岬という所で、海岸からの遊歩
道が高台に通じていて、高台の頂上

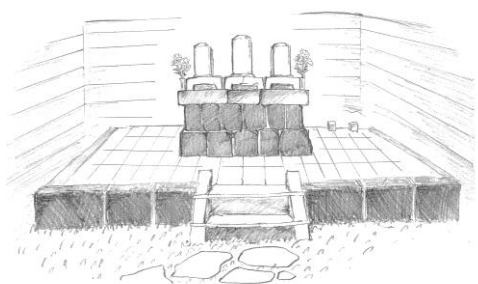
には、四方を柵に囲まれ、土台も50
センチ位のしつかりした基礎土台
が設けられ、さらに土台が作られて
いるその上に、仲良く三基の墓石が
建っていたとの事でした。

墓地には説明文がついていて、明
らかに会津藩士の墓であることが
判明したそうです。その説明文に書
かれていたのが、大沼郡高田村所生
とあり、これは現在の会津高田町の
事で、もう一人は、河沼郡駒板村所
生とあり、これは現在、会津若松市
河東町出身の藩士の墓であると判
明したそうです。

墓所には造花ではあつたが、花が
両サイドに供えられていて、線香も
供えられていたとの事でありまし
た。偶然に出合ったこの墓地に住職
の河村康秀師は、これはまさに、仏
縁にほかならないと直感して、本業
でもあるお経を唱え供養して帰っ
て来ましたと連絡がありましたので、
私は、直ちに寺に行き住職に深
く感謝を申し上げました。

これは、会津出身の私と利尻島に
出向いた住職との浅からぬ因縁に
より、北方の辺で望郷の思いも届か
ず、無念にも亡くなられた会津藩士
達への、ささやかな供養であつたと

少しながら心安らぐ思いで、掲載さ
せていただきました。



【利尻島の会津藩士の墓】

総会を終えて

美幌町福島県人会

会長 近藤 康弘



青空に小さな白雲が浮かんで、周
りの山々も緑一色に繁り恵まれた
晴天の中で、第44回福島県人会北
海道連合会総会を、網走市呼人のホ
テル網走湖荘に於いて開催出来ま
した事を、喜んでおります。

又当日は多忙な中、福島県鈴木正晃副知事を始め、県議会杉山純一議長と令夫人、北海道高橋はるみ知事の代理として、オホーツク総合振興局清水敬二副局長、福島県民広聴室荒川敏室長、北海道議会高橋文明議員と令夫人、私達的美幌町から平井雄二副町長、美幌町議会大原昇議長とご来賓の方々にご出席いただき、ありがとうございます。

思えば昨年1月19日、札幌市ネストホテルでの役員会の席上で、第44回の総会を美幌町県人会で担当して欲しいと打診されてから、この1年4ヶ月は準備と企画を練って何回も打合せをしてきました。

不安と苦悩を胸に、ただひたすら成功を祈るような気持ちで1人が立ち上がれば必ず2人3人と続くという如く、役員さんを始め会員さんも顔色を変えて協力しあい、心の絆を強めて前へ進むのみと頑張りました。

相手の状態を考えながら、一軒一軒家庭を訪問して対話をしながら、先人の言葉に「人のために火を灯せば我がまえ明らかなり」との説(たとえ)を話し、誰も見ていなくとも一生懸命に人のために尽くして行

けば、必ず自分にかえって来ると相手に納得してもらえるように、激励しました。

どんなに美辞麗句を並べても、行動が伴わなければ空しい人生となり、悔いる日々を送る事になるでしょうが、人のために全力で尽くすことは、自分の生命に喜びを与え、躍動が生まれて、相手に感動を与える事が出来る。

思えば私達の住む美幌町も人口が2万人弱となり、今年の5月からは美幌駅も無人化となり、会議を開く事は出来ても宿泊施設がない中の困難な苦しいスタートでしたが、この逆境を最大のチャンスととらえて、一人一人の血のにじむような汗と涙の歴史のドラマをつくろうと奮起しました。

総会当日に次から次へと全道から集まって来た同志の心意気に「オモテナシ」の喜びがはじけましたが、私達は県人会の草創に還れと叫びながら、プロに頼ることなくふるさと福島を語りながら酒を飲み交わし、思い切り舞台せましと歌いながら会員の親睦を図る事が出来ました。

あらためて福島県人会を支えて

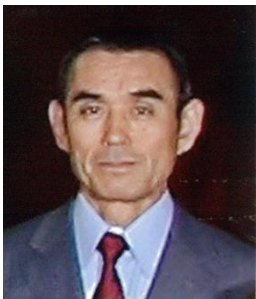
来たのは、先人の汗と涙の開拓の魂であり、ふるさと福島を思う一人一人の心であると感じました。

終わりに今回の総会に当たり、福島県出身者の皆さまには大変お世話になりました事と、各社の代表者50人以上の方々には、訪問させていただきご協力と好意をもっていただいで、頑張つて成功させて下さいと叱咤激励を受け、会員一同感謝を致しておりますが、この温情に甘える事なく、美幌町福島県人会は全員一丸となつて、ふるさと福島県の一日も早い復興を願つて、頑張つて行く事を誓つてお礼にかえさせていただきます。私の所感と致します。

連合会総会に参加して

美幌町福島県人会

幹事 三浦 均



ホテル網走湖荘で行われた第44回福島県人会北海道連合会総会に、

遠路はるばるおいでいただいた福島県副知事はじめ多くの来賓の方々、そして各県人会会員の皆様、本当にご参加ありがとうございます。美幌町福島県人会近藤会長はじめ会員一同盛会の内に総会を終了し、翌日、皆様を笑顔で見送れた事を本当に喜び、安堵しているところです。重ねてお礼申し上げます。今回このような機会を頂いたので、自己紹介と今回の総会に参加した感想を少し書かせていただきます。

私は現在の福島県伊達市梁川町に養蚕農家の男ばかり6人兄弟(6男は私が自衛隊入隊後に生まれる)の3男に生まれ、優秀な成績?で高校を卒業後、昭和50年3月18歳で福島の自衛隊に入隊、翌年51年11月からは、現在住まいのある美幌町に駐屯する自衛隊に異動しました。平成23年2月に、36年余の勤務を終えて54歳で定年退職しました。現在は北見市にある大槻理化学(株)という会社に再就職させていただき頑張っているところです。家族は妻(美幌出身のため、福島へ戻ることは許可が下りませんでした)長女(看護師)、長男(自衛官)で、

ともに結婚して子供2人ずつ授かっています。簡単ですが自己紹介でした。

第44回福島県人会

北海道連合会総会終えて

美幌町福島県人会

幹事 阿久津 泰子

最後に今回の総会のお手伝いをさせていただいた感想を書かせていただきます。前回美幌町県人会が担当したときには、両親を福島から呼び寄せて道東を案内していたため参加できませんでしたが、他の県人会様が担当して行われた総会にも参加したことがなかったので、今回初めて参加してみても、参加人数はもとより、来賓の豪華さ、各県人会員様の元気の良さに圧倒されました。特に懇親交流会の盛り上がり様、翌日の朝食からホテルを出るまでのテンションの高さには美幌町県人会で2番目に若い(総会の懇親交流会では1番若いと言ってしまいい申し訳ありませんでした。)私も驚いてしまいました。そして福島を思う気持ち、県人会を大切に思う気持ちが強いなと感じられ、これだから44回もの長期間続けられるんだなと思いました。最後に札幌の福島県北海道事務所の方々のご尽力にお礼申し上げ、終わらせていただきます。

寒冷の候、会員様におかれましては益々ご健勝にてお過ごしのことと喜び申し上げます。

遠方より多数の出席者を迎え皆様の母県を愛し復興を願うお言葉、会員の活躍の紹介、表彰式、懇親交流会では多くの人と触れ合い大いに盛り上がり楽しい時間を過ごしました。私が初めて福島県を訪れたのは36年前になります。夫の郷里のは36年前になります。夫の郷里南会津、猪苗代湖、磐梯山、鶴ヶ城、野口英世記念館、塔のへつり、スパリゾートハワイアンズ、塩屋崎灯台など、美しい花々味わい深い食材、多様な温泉、豊かな自然、懐かしく思い出されます。

県人会にお世話になって7年位になりますが、会の人達は郷里をこよなく愛し、集まりにはいつも地酒を美味しく楽しんでいらつしやいます。会の行事に参加が出来、交流を深め、震災、原発事故による被害の復興と再生を強く願っています。

又、私事になりますが、最愛の夫晴久古が、平成27年12月12日に享年65歳にて叫べど答えぬ人となり、天に還って行きました。私としても、いつ迄も福島県を夫との想い出に、これからも県人会の皆様と仲良くして、頑張つてまいります。



【副知事と阿久津さん・美幌町県人会の皆さん】

福島県人会の皆様には健やかに
お過ごしのことと幸いです。

今から3年位前に美幌町県人会の秋の日帰り旅行のご案内をいただき、友人の斉藤光雄さんと2人で参加をさせていただきました。その時の楽しかった思い出を書いてみました。

朝、近藤会長宅前にバスが来ているので、乗せてもらいました。次にバスは会員さんの集合する場所(3、4カ所位だったと思います)を迎えに廻り、川湯温泉へと向かいました。バスの中で近藤会長の挨拶があり、ホテルに着いてからのタイムスケジュールの説明がありました。ホテルに着いてから懇親会が始まるまでに時間があるとの事なので、斉藤さんと温泉に入り、出て部屋についたところで、懇親会が始まりました。

近藤会長さんの挨拶、そして乾杯と宴会に入りました。初めて参加を

「絆」を深めた思い出

美幌桜をつくる会

副会長 中山 仁



させて頂いた頂きましたが、会員の皆さんからは初めて逢ったと言うよりは何年も前から知っていたかのようになり、きさくに色々と言葉をかけていただき、またお酒を酌み交わしていただき、本当に心から嬉しく楽しませていただき有りがとうござ居りました。県人会の人達は皆仲が良く深い絆でむすばれていますね。全員の方が家族のようになつて楽しんでる姿をみていますと、心暖まる気持ちになりました。宴会は進みカラオケが始まり、皆が楽しんで歌い私達も楽しく歌わせてもらいました。宴も終わりとになり、送りのバスに乗り川湯温泉を後にしました。バスの中でもマイクをにぎり歌っている方もいました。斉藤さんも楽しそうに歌っていました。斉藤さんとは長い付き合いですがバスの中で歌っている姿は初めて見ました。きつと楽しかったのだと思います。これも近藤会長さんの気づきとと会員の方々のやさしさがあってからだだと思います。心暖まる気持ちで帰って来ました。本当に有りがとうござ居りました。

また今年に入り6月19日にご協力者と感謝の夕べに、私と斉藤さんとが近藤会長さんからご案内をいただき、本当に嬉しく参加をさせていただきました。斉藤さんは当日仕事の都合上参加が出来ないと、とても残念がっていました。何か県会の行事があるごとに気をとめていただいて近藤会長にはいつも心から感謝をしています。午後6時よりスナックアカシヤ様で感謝の夕べが開宴しました。はじめに近藤会長の挨拶があり、次に道議会議員の高橋文明氏の乾杯音頭があり宴会に入りました。会員の方々が向かい合った席に座りながら向かい合った人達と楽しく酒を酌み交わす姿はほほえましく家族のように見えました。近藤会長さんは席の一人一人に話しかけ酒を酌んで廻る姿は本当にやさしく、誰にでも区別なく話かける姿は会員誰からも愛され好かれ人望がある人と思えました。お酒もまわりカラオケが始まり次から次と会員の方の美声を聞かせていただき、また小さな子供さんが上手に歌って聞かせていただきました。私にとっては夢のような二時間をすごさせて貰いました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも近藤会長さんの益々のご

活躍とご健康を心から願ひ、美幌町福島県人会の皆さまのご活躍とご健康を心から願ひしております。

福島県人会に参加して

美幌町自治会連合会

交通安全部会 理事 中嶋 忠

第44回福島県人会北海道連合会総会及び懇親交流会の集いに初めて参加させていただきました、大変にありがとうございました。ごさいました。

福島県人会が全道的規模で行われており皆さんの絆の強さを感じました。

また福島県の副知事様や議長様なども出席して下さり、北海道福島県人会との結びつきの強さを知り深く感銘いたしました。

感想文を書くにあたり少々福島県人の歴史を調べましたところ、旧会津藩士、会津若松の町医者が箱館戦争の時も従軍し、負傷兵の治療に当たると活動され戦後も北海道に残り室蘭病院(現 市立室蘭病院)の初代院長になられた方、また北海道屯田兵として移住され、のちに農業試験場の誘致に尽力された方や

福島県の警察官だった人が転出した上司に誘われ、大正12年に北海道庁水産課に転職され漁民達の暮らしが楽にならない仕込資本という悪弊に気づき、まず漁業協同組合連合会をつくり、国の低利資金を活用できる道を開き、道内各地に漁協が組織されるなど、北海道の全般の基礎を築いて下さったのが福島の方々であることを知り感動と感謝と敬意を表するものであります。

総会においては、近藤会長が全道の副会長に就任され美幌町並びに全道の福島県人会が益々明るく楽しい県人会になりますように期待いたします。

懇親会ではまわりの皆さんと楽しい語り、ついつい調子にのつて歌のトリの方のときは、紙吹雪をまくなど有意義な一時となりました。

また、大いに語る会では、皆さまにおかれましては、何かとお忙しい中、多数の方々にお集まり頂き真にありがとうございます。

佐藤英道衆議院議員も福島県人会の一員であり、忌憚の無いお話をいただき、これからの政治活動に活かされていくものと確信いたします。

す。

これからの県人会に思うことは、文化交流、体験交流の推進、例えば少年団交流によるサッカーや野球の親善交流試合の開催また、夏季キャンプ体験交流など、また、北海道福島県人会4世5世の方々の福島県への交流会の開催など相互交流を深めさらに北海道福島県人会の団結力が深まることと思います。

最後に福島県人会の皆さまのご健勝とご多幸と益々のご発展をご祈念申し上げます。



【中嶋忠さんと照井歌子さん】

杉山福島県議会議長が

「傷心惨目の碑」にお参り

函館福島県人会

幹事 菅野 広道

当会では毎年5月11日に箱館戦争で戦死した会津藩士を供養する「傷心惨目碑前祭」を実施しておりますが、去る5月27日（金）には杉山福島県議会議長夫妻が高龍寺を訪れ「傷心惨目の碑」に献花されました。

当会からは熊坂顧問、小山会長など4名が同席し、亡き藩士の冥福を祈りました。



【杉山議長夫妻と函館県人会の皆さん】

杉山議長は、当会が毎年慰霊祭を

行っていることに深く感謝しておられました。

ご夫妻はその後、翌日網走で開催される福島県人会北海道連合会総会・懇親交流会に出席のため、出発されました。

「お桜見(はなみ)の集い」を開催

函館福島県人会

幹事 菅野 広道

5月2日（月）五稜郭公園で「お桜見(はなみ)の集い」を開催しました。

当日は絶好の花見日和に恵まれて10名が参加、ジンギスカンとビールで話も弾み楽しいひと時を過ごしました。

陽気と美味しい臭いに誘われて外国人留学生が立ち寄り歓談する一幕もありムードを盛り上げてくれました。

また、9月28日（水）には、今春オープンした北海道新幹線の新木古内駅と道の駅「みそぎの郷(さと)」を見学しながらパークゴルフと温泉を楽しんできました。(8名参加)



【五稜郭公園にて】

日帰り温泉く観楓会を楽しむ

旭川福島県人会

幹事長 圓谷 清

去る10月30日（日）東川町キトウシ高原ホテルにて、温泉入浴と懇親会を楽しみました。佐藤貞夫会長以下16名の参加者で、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

当日の天候は、雪模様も一休みの一日となり季節としてはまずまずの天候で、旭川駅に9時30分に集合しホテル送迎バスに揺られ、10時過ぎにホテルに到着しました。

このキトウシ高原ホテルは、旭川福島県人会観楓会として平成22年

以来6年ぶりの場所でしたが、皆さん慣れたものでホテル玄関から懇親会会場までスムーズに又、懐かしいねと言われながら入ることが出来ました。

少し落ち着いてから、ゆったりと温泉入浴の人と近況報告の懇談の人と共にのんびりとした時間を過ごしました。

懇親会は11時半より金子民男顧問のご挨拶より始まり、懐かしい楽しい思い出話で懇親会は大いに盛り上がりまして、締めめの時刻は時計を見ると午後2時となっていました。

宴も盛り上がりカラオケが始まると、砂山三絵子相談役が最初に始まりまして会場の雰囲気や和ませていただきました。福島民謡では、「新相馬」を渡邊武治監査に唄っていただき、故郷福島の幼き日の風景や生活を思い出すことができました。宴の中には変装カラオケがあったり星英治副会長の一曲では、一流スター似の衣装で登場し会場の皆さん大きな拍手と声援と大笑いで大盛り上がりでした。

最後に参加者全員が輪になって唱歌「ふるさと」を合唱することが

できました。山口正幸会計部長より、会員皆さんの健康第一を考え、また次回元気で会えますようにと一本締めにより終了しました。

参加者皆さんのご協力により、美味しい食事と温泉・カラオケで良い思い出ができた親睦と友好を深め合う観楓会でした。



【キトウシ高原ホテルにて】

28年度合同観楓会

別海町福島県人会

事務局 大内 照雄

近隣3県人会合同観楓会、年に一度の、お楽しみ会、何の違和感もない、一年振りの顔、母県、両親、妻がたまたま福島出身であり、そんな

不思議な関係でつながる県人会。北海道でさびしく暮らしたくないと、

福島県人かたぎの絆が、思いは皆同じ、先輩たちの築いた、このつながりの絆、我々で消したくない、継承しようと考えて仲間。この歴史有る第34回合同観楓会が今年別海町県人会担当で、盛会に開催されました。10月2日(日)、3日(月)、1泊2日の日程で、昨年美幌町県人会様と同様、弟子屈町川湯温泉、名湯の湯、きたふくろうホテルにて開催しました。

何かが違う、送迎のバス時間はまだなのに、落ち着かない早めの集合、乗り合わせすると、こんなバスで遠く旅行へ行きたい、何がそんなに楽しいのか、不思議でたまらない。たった一晩なのに、車内より眺める変わりゆく風景、何気もなくいつも眺めている山々、平坦な牧場風景が何となく楽しさに変わるのが不思議でならない。そうこう話あい、考えているうちホテルへ到着下車。ホテルロビーでの参加者どうしの、顔をあわせ、お互いに変わらない最近の健康状況報告。お世話になるホテル食堂での昼食会、今回はチョット見た目よりも豪華なおニギリ弁当、懇

親会の今夜の料理が期待できそう？

初日最初の行事、パークゴルフ参加者は13名、年々減少、やはり自然なのかも。でもこれだけに楽しむ会員、不思議なほど空は晴天、芝生も最高、最高のコンディション。昨年と違った変化のあるコース、何回も上げたり、おろしたり、苦労しながら懇親会を楽しみに、2コース18ホールを無事終了。名湯の湯で身体を癒やす、湯にゆっくりと浸かる体。18時より懇親会、美幌町県人会様14名、浜中町県人会4名、担当別海町県人会10名、遠路はるばる台風の被害にて道内JRズタバタの状況の中、割合順調に乗り継ぎ出来ましたと、余裕をもって現れた、福島県北海道事務所、長谷川守所長の参加、総勢29名にて、別海町副会長渡辺栄顕様の開会の辞で始まり、全員にて今年度北海道、熊本、東北の福島、宮城、岩手の災害地の災害犠牲者に対しての、黙祷、主催者担当県人会の白石会長、来賓所長さん、美幌町県人会近藤会長各位のご挨拶をいただき、別海町湯田会員の乾杯の発声音頭で宴会が開催されました。

パークゴルフの表彰式、今年は男女混合の為、ハンデ制、女性マイナス2打、頑張りました。僅差で、女性勝利、59打マイナス2打で57打、浜中町県人会吉家慶子さん優勝、おめでとご座います。準優勝は、ベスグロ58打、大内照雄氏小差で敗れ残念でした。

その後は事務局の志向により多くの商品を参加者全員へ会長から送らせていただきました。贈呈後は、言わずと知れず、前回同様、マイクを渡すとプロ並みの鍛えた喉の披露、選曲する方も大変です。緊急助け人、美幌町県人会前崎孝子さん、慣れた手付きでその場をしのいでくれて、おお助かり、飲む時間もなく最後まで付き合ひ、協力にありがたく感謝の意を全員拍手でお礼に変えさせていただきました。そんなこんなで2時間もあっという間、最終フィナーレは、足腰元気な、恒例の北海盆おどりで再度盛り上がり、全員参加で無事終了となりました。その後ホテルでのサプライズあり、ロビーでの三味線演奏、ほろ酔いの時間が過ぎました。翌日は朝食後、参加各会員にホテル前で来年もまた元気でと誓い合い見送り。私達も

又、ホテルの方に見送られ後にいたしました。

新会員の紹介

函館県人会

管野 正 様 (出身 函館市)

笹原 志郎 様 (出身 せたな町)

熊坂 高 様 (出身 福島市)

旭川県人会

佐藤 厚子 様 (出身 旭川市)

美幌町県人会

刈谷 敏子 様 (出身 郡山市)

千歳県人会

川田 和裕 様 (出身 郡山市)

吉田 成人 様 (出身 小野町)

佐々木 義朗 様 (出身 富岡町)

佐々木 モト子 様

(出身 富岡町)

母県からのお知らせ

「あんぼ柿」「にら」「いちご」など冬も福島県産農産物が旬です！

伊達市発祥の「あんぼ柿」は、出荷再開から4年目となり、これまで小玉のみの出荷でしたが、今年は大玉の出荷が再開されました。他にも、にら、しゅんぎく、いちごなど、冬も旬の福島県産農産物。店頭でお見かけの際は、是非ご賞味ください。

新任職員紹介

福島県北海道事務所 所長

長谷川 守 (出身 南相馬市)



4月から北海道事務所勤務となり早いものであつという間に8ヶ月が過ぎました。県人会の皆さまにはとても親切にしてください感謝しております。

3月までは生活交通課というところで只見線の復旧に関わっていました。北海道にも只見線に劣らぬ魅力あるローカル線がたくさんあり、最近のJRの廃止問題には心を

痛めているところです。

家族は妻と息子2人で、長男は高校3年生、次男は小学4年生です。単身赴任ですので子供に会えない寂しさもありますが、最近の子供の方が慣れてきてだいぶ気が楽になりました。

これから北海道は本格的な冬を迎え寒さも厳しくなりますが、私にとつてはそれも楽しみです。春先に木々が芽吹き始めたなど思ったら瞬く間に山や街が緑に染まったのには驚きましたし、秋には街中で雪景色に浮かぶ紅葉も見ることができました。今は大通りのイルミネーションがきれいで帰り道が毎日楽しいですね。街を歩いているとほんとにきれいなところだなと思えます。

北海道には見てみたいもの、食べてみたいもの、行ってみたいところがまだまだたくさんあります。今年やりきれなかったことが多すぎて来年こそはと思っております。

北海道にはもともと知り合いも少ないですから皆さまとお会いするのをおいともとても楽しみにしています。今後ともよろしくお願いたします。